

## 第23回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

**と き** 平成28年2月9日（火）  
**テーマ** 子育て支援について  
**参加者** 早瀬 雅憲さん（大篠）  
山下 裕史さん（河辺）  
田淵 有希子さん（中島）  
竹内 良治さん（大吉）  
山口 武俊さん（加茂町榿井）  
竺原 崇さん（沼）

津山市保育園父母の会連合協議会の皆さんと市長が、子育て支援について意見交換を行いました。



**参加者** 18歳未満の子どもを3人以上扶養している家庭などで保育園に同時入所していない場合でも、第3子以降の保育料を無料にするなど、経済的支援を求める保護者が増えています。

**市長** 市では、最年長児の年齢制限を無くし、第3子以降の保育料を無料にすることを考えています。

**参加者** 中学3年生までの入院、通院にかかる医療費の自己負担が無くなるといいですね。

**市長** 適正受診も考慮し、さらに効果的な支援策を考えていきたいです。

**参加者** 2歳未満の子どものインフルエンザ予防接種に助成があるといいですね。

**市長** 1歳から中学3年生までの接種への助成を考えています。

**参加者** 3歳児健診の後に、小学校に入るまでに新たな健診を設け、授業を落ち着いて受けられるかどうか心配な子どもたちへ、早期支援を行うことができないかと思っています。

**市長** 全国的に専門の見立てができる医師が少ないといわれています。市では、4～5歳児を対象に、発達課題に焦点を当てたアンケートを実施し、その結果を見て、園児や保護者、幼稚園、保育園、保健師の間で相談の場などを作っていきたいと考えています。

**参加者** 市で看護師を採用し、保育園で園児が急病になった時に派遣するという制度があればいいと思います。

**市長** 現在は、医療機関で病気の子どものお預かりする病児保育も実施していますので、活用していただけたらと思います。

**参加者** 子どもを看護するための休暇の取得について、各企業へ働き掛けてみてはいかがでしょうか。

**市長** 企業への訪問や啓発講座の開催をする中で、今後一層の働き掛けをしていきたいと思っています。

第3子以降の保育料無料化とインフルエンザ予防接種の助成は、平成28年度から実施します